

英語を聴く練習にはオーディオ・ブックも役立ちます。オーディオ・ブックとは本の朗読が入ったCDのことです。日本語は漢字を使ううえ同音異義語が多いので、本を朗読で読む習慣が一般の人にはありません。でも英語は表音文字なので、文字を読むためには一度頭の中で音読しなければなりません。そのため本を朗読で読む人が多く、商品としてのオーディオ・ブックが発達しています。オーディオ・ブックが英語を聴く練習に良いのは、知らない単語に出会ったら元の本でその単語を確認できることです。つまり文字が音に変換される現場に立ち会うことができます。日本でも英語の本は簡単にアマゾンから買えるようになりました。オーディオ・ブックも売っていますので、人気のハリーポッター・シリーズなどが良い教材になります。ある程度英語が言葉として聞こえるようになったら、好きな本のオーディオ・ブックに挑戦してみてください。電車通勤の時間がこの練習にはうってつけです。同じ本を何度も聴くことで耳が英語に慣れます。知らない単語が減るにつれ、文字を読むよりも楽にオーディオ・ブックの英語を理解できるようになります。さらに聴いた英語は自分の口から真似してみましよう。心に残るセリフを覚えておけば後で会話の時に役立ちます。

英語を聴くと必ず熟語や比喩が出てくるので、その意味を辞書で確かめて自分でも使えるように普段からブツブツとつぶやきます。比喩とは例えばこんな表現です。

Don't put all your eggs into one basket.

He tested the water, then he got cold feet.

This leads us to nowhere. Let's start from scratch.

聴く能力と話す能力は別です。英語のCDを聞くだけで英語が話せるようになること絶対ありません。これは筆者が身をもって経験したことです。いくら上手な歌をCDで聞いたところで、その歌を上手に歌えるようにはならないのと同じです。自分で歌わないと上達しません。聞くだけで上達するのは聞く能力です。

普通で速度で話す英語の流れに沿って即座に理解するには

「視る」で練習したことが役立ちます。英語がただの音ではなく意味のある言葉として聞こえるまで自分を英語漬けにします。その意味でNHKの海外向け英語放送は、内容に馴染みがあるのでおすすめの教材です。NHKのウェブページやアプリで視聴することができます。